

【ご参考】

2007年11月22日

各 位

上場会社名 中外製薬株式会社
コード番号 4519（東証 第一部）
本社所在地 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
代 表 者 代表取締役社長 永山 治
問い合わせ先 責任者役職名 広報 I R 部長
氏 名 富樫 守
電 話 番 号 03(3273)0881

生産体制再編計画の一部変更について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕（以下、中外製薬）は、2005年2月に公表した生産体制再編計画について、計画の一部を変更することとしましたのでお知らせいたします。当初の計画では、生産機能の効率化と資源の集中化を目的に、国内5工場について2010年初頭を目途に宇都宮工場（栃木県宇都宮市）と藤枝工場（静岡県藤枝市）の2工場へ集約することを目標として掲げました。しかしながら、この度、浮間工場（東京都北区）の閉鎖計画を取り止め、宇都宮工場、藤枝工場に浮間工場を加えた3工場体制へと再編計画を変更することとしました。

浮間工場を継続活用する計画変更の主な理由は、浮間工場でのバイオ原薬の製造設備の長期的な活用に目処が立ったことにより、宇都宮工場への設備移管・集約に比して現有資産・資源の有効活用に大きな効果が期待できるためです。なお、鎌倉工場については、当初計画通り2010年末を目処に閉鎖する予定です。

今回の再編計画の変更により、浮間工場は、エポジン、ノイトロジンのバイオ原薬、ピシバニール注などの注射剤製造を担う工場としてこれまで通りの製造を継続します。また、宇都宮工場は、現在エポジン等の注射剤、抗体医薬のアクテムラ原薬を製造しており、合計8万リットルの国内最大級の動物細胞培養設備を擁する抗体医薬の生産拠点として、より一層の競争優位性を確保するための自社技術の維持・強化を追求していきます。さらに、藤枝工場は、当初の再編計画通り浮間工場、鎌倉工場から自社で製造する高活性品を中心とした固形剤製造機能などを移管することで、合成医薬品の原薬・製剤一貫工場へと整備していきます。

このように中外製薬は、生産体制再編を通じてバイオ、抗体、高活性製造技術などの維持・強化を図り、技術・品質・コスト競争力を向上させることによって、さらなる競争力強化を図っていきます。

なお、今回の計画変更により、当期単体及び連結業績予想に変更を要する影響はありません。

以上

【ご参考】

宇都宮工場：

所在地 栃木県宇都宮市清原工業団地 16-3
敷地面積 約 122,000 m²
事業内容 バイオ医薬品の生産
主たる製造品 エポジン注、ノイトロジン注
従業員数 377 名

藤枝工場：

所在地 静岡県藤枝市高柳 2500
敷地面積 約 218,000 m²
事業内容 合成医薬品の原薬生産
主たる製造品 アルファロール原薬、シグマート原薬
従業員数 88 名

浮間工場：

所在地 東京都北区浮間 5-5-1
敷地面積 約 66,000 m²
事業内容 バイオ医薬品の原薬生産
主たる製造品 エポジン原薬、ノイトロジン原薬
従業員数 223 名

鎌倉工場：

所在地 神奈川県鎌倉市梶原 200
敷地面積 約 81,000 m²
事業内容 医薬品の生産
主たる製造品 タミフル、ゼローダ
従業員数 228 名